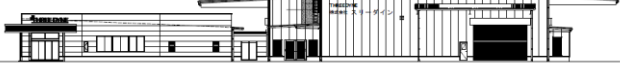
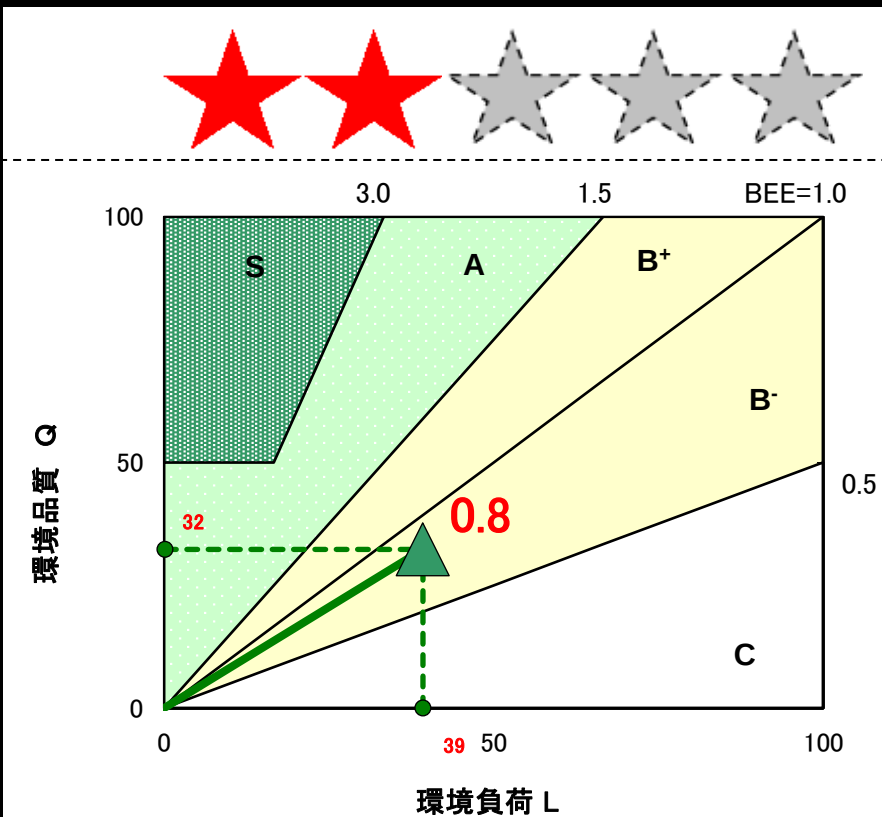


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(株)スリーダイン熊本工場	階数	地上1階、地下0階	
建設地	熊本県上益城郡益城町大字小谷字	構造	S造	
用途地域等	市街化調整区域	平均居住人員	33 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年3月21日	
敷地面積	25,000 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所	
建築面積	3,721 m ²	確認日	2025年3月21日	
延床面積	3,612 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所	

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



BEE = 0.8

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

排出率

79%

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

79

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

評価点

89.3

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

62.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

72.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

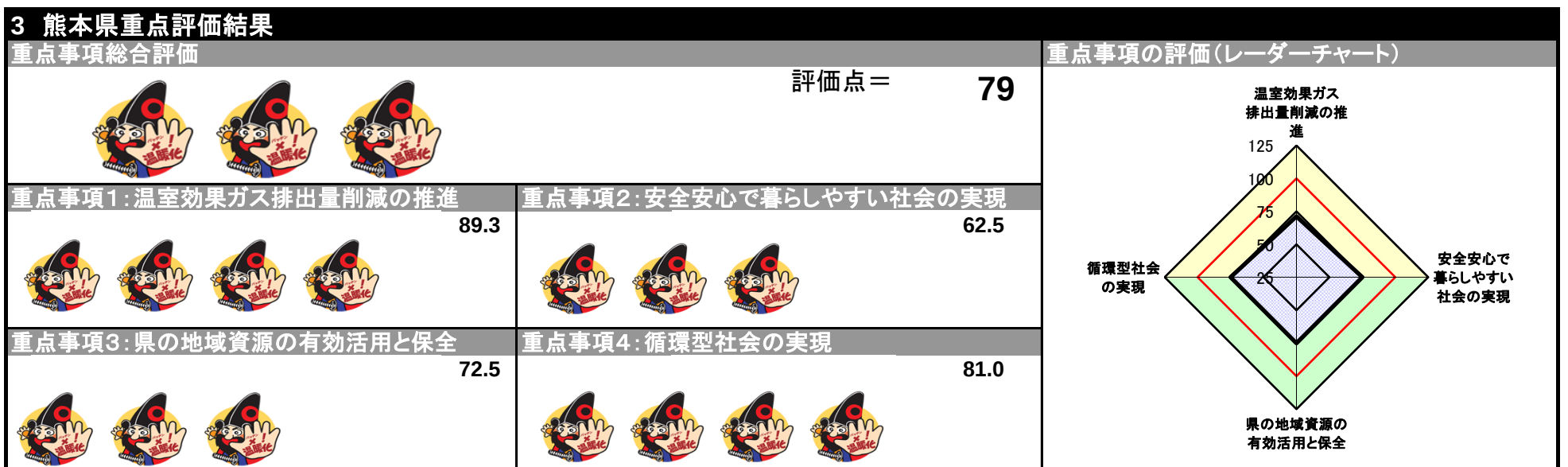
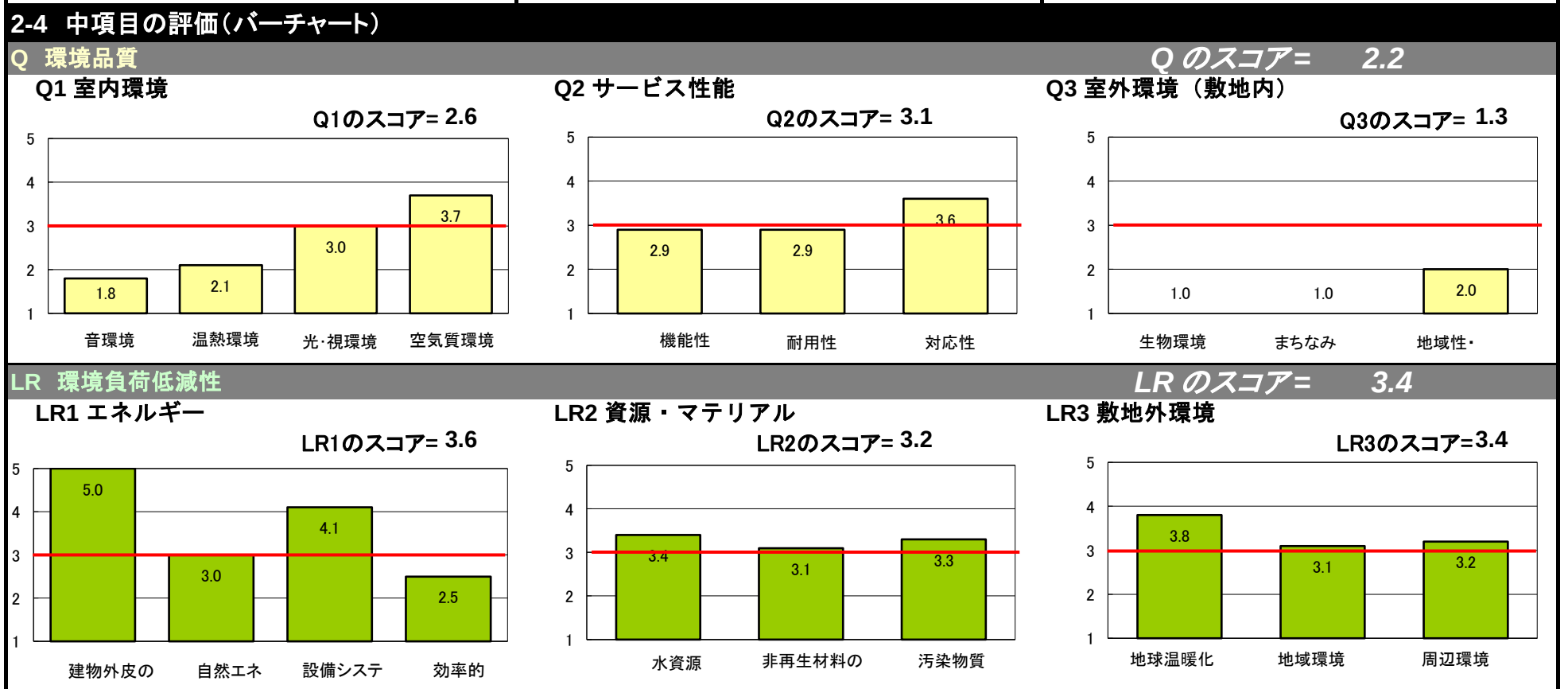
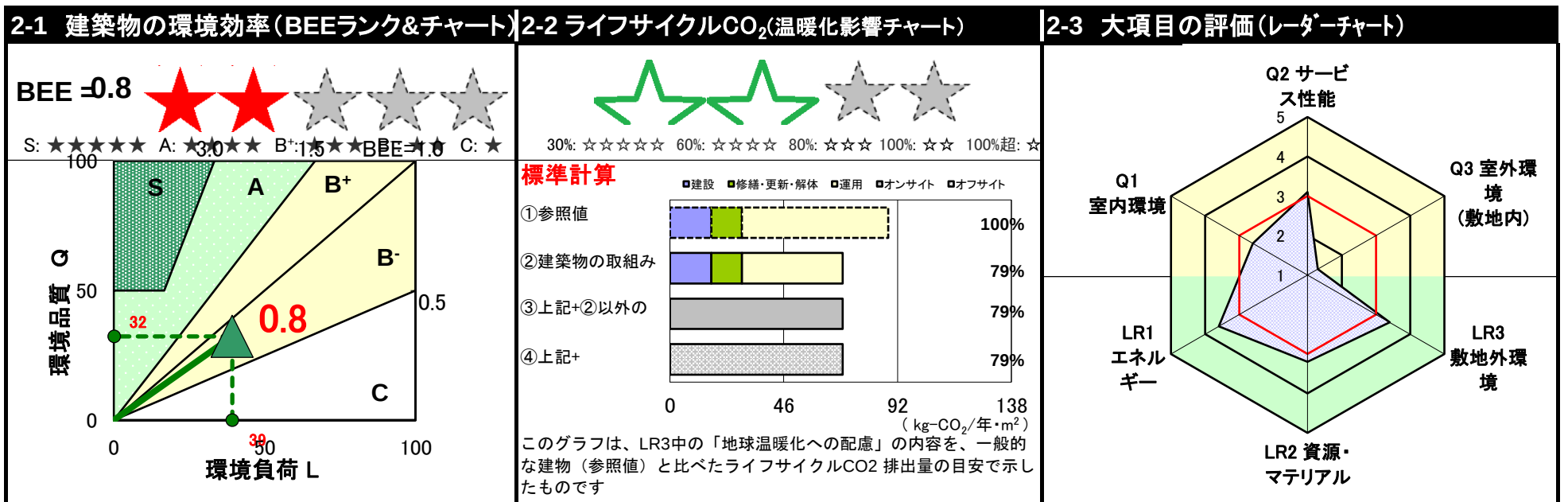
81.0

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	☆☆☆☆☆
80点以上100点未満	☆☆☆☆
60点以上80点未満	☆☆☆
40点以上60点未満	☆☆
40点未満	☆

※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(株)スリーダイン熊本工場	階数	地上1階、地下0階	
建設地	熊本県上益城郡益城町大字小谷字	構造	S造	
用途地域等	市街化調整区域	平均居住人員	33 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年3月21日	
敷地面積	25,000 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所	
建築面積	3,721 m ²	確認日	2025年3月21日	
延床面積	3,612 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.2	
Q1 室内環境					0.32		-	2.6	
1 音環境				1.8	0.15	-	-	1.8	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				1.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.1	0.35	-	-	2.1	
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		窓 SC:0.34 U:2.13 外壁 U:0.682		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-	3.7	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を使用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		館内が禁煙 喫煙コーナーの設置		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.9	0.40	-	-	2.9	
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務所の天井高:2.7m		4.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-		
3 内装計画				1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		①②③⑤⑥⑧⑨⑩⑪		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用しEは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高の平均：4.0m	5.0	0.60	-	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 工場＝0.11 事務所＝0.17	4.0	0.40	-	-		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-		
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	1.3	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI＝0.69	5.0	0.04	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]＝ 0.69	4.1	0.60	-	-	4.1
4 効率的運用				2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価			-	-	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-	-		
4.2	運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水水栓、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			内装材と設備が錯綜せず、容易に取り外し可能(LGS下地)	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0(グラスウール)	4.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率＝79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制	駐輪スペース、駐車スペースの確保 荷捌き用車両施設の確保	5.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		-	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	(株)スリーダイン熊本工場	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				89.3	0.40	35.72
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.09			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.09			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.09			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.03			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				72.5	0.20	14.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	1.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				81	0.20	16.20
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

■ 環境関連の配慮事項

(株)スリーダイン熊本工場

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合		町道に敷地が隣接しているため、建物を道路から離れた位置に配置。 周辺には、森林が多いため敷地内に緑地を儲け、周辺の景観に調和する設計に努めた。
Q1 室内環境		F☆☆☆☆建材を使用。
Q2 サービス性能		事務所は、事務室をオープンフロアにすることで、自由なレイアウトができるできるようにした。 工場は、生産物用途に合わせた室の設計を行った。
Q3 室外環境 (敷地内)		敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー		Low-eガラスを採用し、遮熱性を高めた。
LR2 資源・マテリアル		断熱材はすべてノンフロン
LR3 敷地外環境		適切な数の駐車場を配置。 来客駐車場は事務所に隣接した配置とし、多目的駐車場を整備した。
その他		